

2026年1月19日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

**「第11回サステナブルファイナンス大賞」において優秀賞を受賞  
～サーキュラーエコノミーおよびネイチャーポジティブ分野に特化した  
スタートアップ投資ファンドの立ち上げが評価～**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)が主催する「第11回サステナブルファイナンス大賞」において、「優秀賞」を受賞しましたので、お知らせします。

サステナブルファイナンス大賞は、環境課題の解決に資する金融商品・サービス・取り組みを展開する金融機関等を対象に、2015年より実施されている日本有数の表彰制度です。「新規性」「ESG度」「Impact(社会・顧客・市場への影響)」「収益性」「組織評価」などの観点から、著名な有識者10名により厳正な審査が行われ、本年度の優秀事例として当社の取り組みが高く評価されました。

今回受賞の対象となった当社取り組みは、サーキュラーエコノミーおよびネイチャーポジティブ領域に特化したスタートアップ投資ファンドの立ち上げおよび推進です。本ファンドは、資金供給に留まらず、企業・スタートアップ・自治体・研究機関等の多様なステークホルダーを結び付ける役割を担っており、サプライチェーンの改革や地域循環モデルの構築など、複数の実装プロジェクトを既に展開している点が評価されました。

当社は、企業に対してはサステナブルファイナンスの提供、自治体に対してはサーキュラーシティ移行ガイドおよび指標の提供を通じた戦略策定に関する支援を行ってきました。今回のファンド運用を通じ、スタートアップ×企業×地域(自治体)の連携をさらに強化し、サーキュラーエコノミーへの移行加速を包括的に支援していきます。

当グループは、「託された未来をひらく」をペーパスとして掲げ、幅広い信託機能等を活用して資金・資産・資本の好循環を実現し、社会の新たな価値の創出に取り組んでいます。サーキュラーエコノミー社会移行に向けて、資金・資産・資本に加えて「資源」の好循環実現に貢献していきます。



以 上